

哲学思想基本研究Ⅱ(その1)

2単位 2年(前期)

石田三千雄・教授/人間文化学科

【授業目的】カントの『人倫の形而上学』を読んで、カントの法についての基本的な考え方を学ぶ。

【授業概要】カントの「人倫の形而上学」の体系は法論と徳論から成る。法と道徳はどのように区別され、またどのように関連するのであろうか。また法の強制力とは何であり、徳の義務とは何であらうか。これらをカントの『人倫の形而上学』を読むことによって考えてみたい。

【キーワード】カント、法、倫理

【関連科目】『哲学思想基本研究Ⅰ(その1)』(0.5), 『哲学思想基本研究Ⅲ(その1)』(0.5)

【履修上の注意】演習形式で授業を進めるので、演習時間毎に予習が不可欠である。学生諸君の積極的な参加と準備・議論を期待する。

【到達目標】カントの権利や契約といった法的概念について自分で考え、討論することができる。

【授業計画】

1. ガイダンス
2. 2~3 家族的社会の権利について (1):婚姻権
3. 4~5 家族的社会の権利について (2):両親の権利
4. 6~7 家族的社会の権利について (3):家長権
5. 8~9 契約について
6. 10~11 貨幣について
7. 2~13 書物について
8. 14 取得について
9. 15 相続について:レポートの課題提示
10. 16 総括授業

【成績評価】毎回の出席状況、議論状況を基本に評価し、学期末にレポートを課す。

【再試験】行わない。

【教科書】授業の時に資料を配付する。

【参考書】『世界の名著 32 カント』中央公論社

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218881>

【連絡先】

⇒ 石田 (2328, 088-656-7147, mishida@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィス
アワー: 水曜14時~15時)

【備考】本年度開講せず